

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』の修正箇所は下記のとおりです。保存活用計画の修正の反映とあわせて、整備計画の中間見直しを行い、修正するものです。

・文言の修正を行います。



・21頁 第3章 史跡の現状と課題 第2節 史跡の概要と現状 3. 現在までの調査概要 (4) 松根城跡地区の発掘調査成果 6～8行目を修正

(修正前)

小原越との関係については、これまで想定されていなかった尾根筋で旧小原越と考えられる道跡を発見したことから、大堀切で遮断されていると判断される。これによって、今後は加越国境城跡群を検討する際には、「街道封鎖」を念頭に置くことが必要となった。

(修正後)

小原越との関係については、これまで想定されていなかった尾根筋で旧小原越と考えられる道跡を発見したことから、大堀切で遮断されていると判断される。これによって、今後は加越国境城跡群を検討する際には、「街道封鎖」を念頭に置くことが必要となった。**また、大堀切内の移動を遮断する土塁の存在も発掘調査で明らかになり、全国的に珍しい遺構であることが判明した。**

・24頁 第3章 史跡の現状と課題 第4節 現状 3. 小原越地区 小原越地区の現状 3項目を修正

(修正前)

・植林の倒木処理による丸太が、堀などに放置されている。

(修正後)

・植林の倒木処理による**丸太が放置されている。**

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所



- ・ 26頁 第4章 基本理念と基本方針 第1節 基本理念 28行目～31行目を修正

(修正前)

建物復元などの立体整備は過度に行わず、AR・VRなどのデジタル技術を活用して、現況の遺構形状をそのまま見ること、往事の臨場感を体感できるような整備とする。

(修正後)

建物復元などの立体整備は**遺構に影響の無いような復元を実施し**、ARやVRなどのデジタル技術を活用して、現況の遺構形状をそのまま見ること、往事の臨場感を体感できるような整備とする。

- ・ 27頁 第4章 基本理念と基本方針 第2節 基本テーマ ③ 景観を修正

(修正前)

③景観

遺構の残り具合が非常に良好であることが本史跡の大きな特徴の一つであり、当時の山城景観を体感することができる。部分的な立体復元及びデジタル技術を採用し、眺望で述べたのぼり旗と併せて、戦国時代の景観を楽しむことができる。

(修正後)

③景観

遺構の残り具合が非常に良好であることが本史跡の大きな特徴の一つであり、**遺構を見せることで**、当時の山城景観を体感することができる。部分的な立体復元及びデジタル技術を採用し、眺望で述べたのぼり旗と併せて、戦国時代の景観を楽しむことができる。

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所



・27頁 第4章 基本理念と基本方針 第3節 基本方針 1. 保存・活用の基本方針 一番下の表を修正

(修正前)

保存・活用の 基本方針	保存	保① 遺構の修復(修繕)
		保② 獣害対策
		保③ 雨水・排水対策
	活用	活① 眺望確保
		活② 利便性の向上
		活③ ストーリー性の創出
		活④ 来訪機会の促進

(修正後)

保存・活用の 基本方針	保存	保① 遺構の修復(修繕)
		保② 獣害対策
		保③ 雨水・排水対策
	活用	活① 利便性の向上
		活② 理解の促進
		活③ 眺望確保
		活④ 来訪機会の促進

・28頁 第4章 基本理念と基本方針 第3節 基本方針 2. 整備基本方針 【活用】 22～23行目、30～31行目を修正

(修正前)

城郭の構造や城郭と道の関係を理解するための遊歩道整備を実施する。

(修正後)

城郭の構造や城郭と道の関係を理解するための**遺構復元**や遊歩道整備を実施する。

(修正前)

基本的には現況遺構を見学できるような整備を実施し、立体的な復元は、A R (Augmented Reality：拡張現実) や V R (Virtual Reality：仮想現実) で補う。

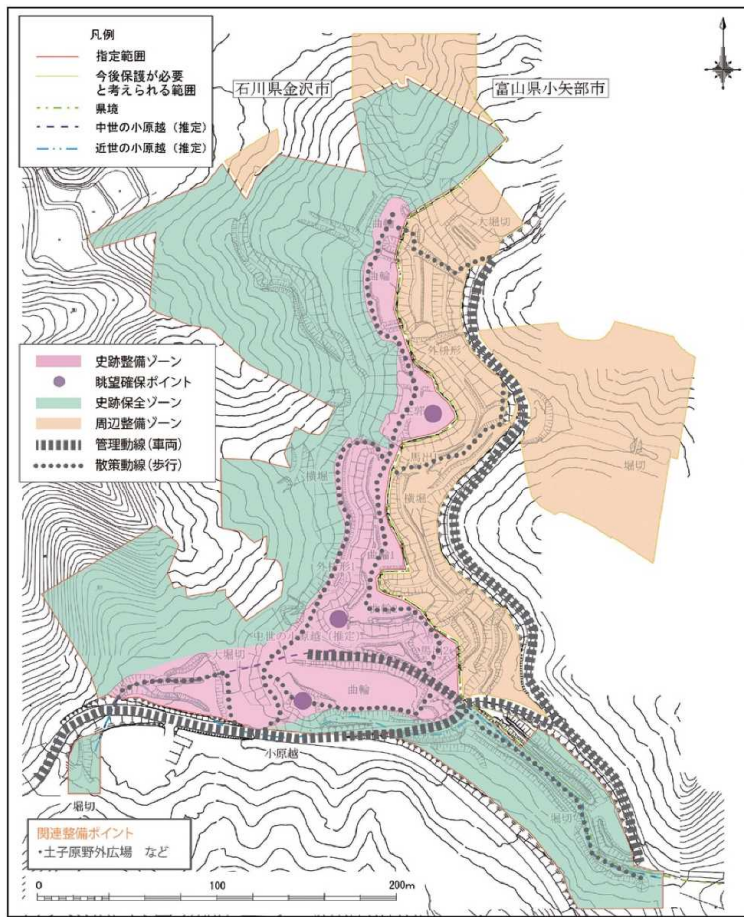
(修正後)

基本的には現況遺構を見学できるような整備を実施**する**。**また、遺構に影響の無いよう必要最低限の復元を実施し、A R (Augmented Reality：拡張現実) や V R (Virtual Reality：仮想現実) と併用する。**

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・34頁 第5章 整備基本計画 第2節 地区別ゾーニング・動線計画 第14図 松根城跡地区ゾーニング図を修正

(修正前)

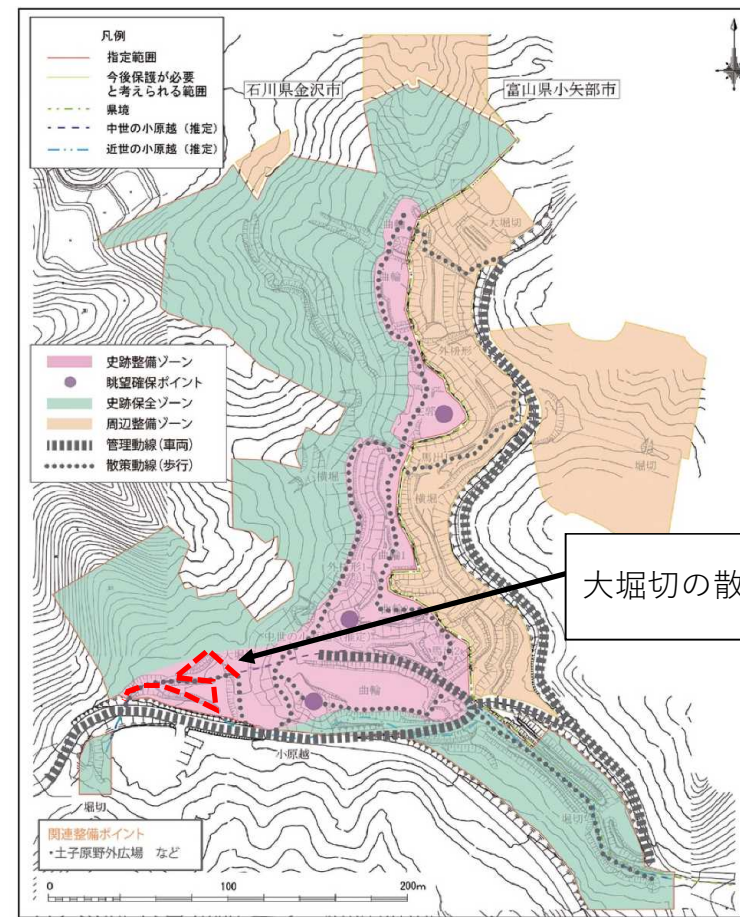


(S=1/2,500)

第14図 松根城跡地区ゾーニング図



(修正後)



(S=1/2,500)

第14図 松根城跡地区ゾーニング図



『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

- ・ 36頁 第5章 整備基本計画 第3節 整備計画 第16図 整備計画フローを修正



(修正前)

活②

ストーリー性の創出

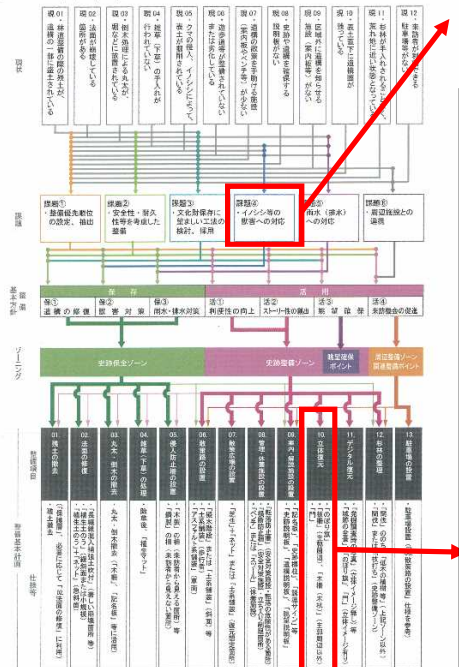
(修正後)

活②

理解の促進

第3章 整備計画

「現状」及び「課題」・「整備基本方針」・「ゾーニング」・「経路基本計画（整備項目、仕様等）」を以下のフローに示す（第16図）。



第16図 整備計画フロー

(修正前)

10. 立体複元
「のぼり旗」
「板橋」・「主郭周辺」・「木橋（木杭）」
「主郭周辺以外」

(修正後)

10. 立体複元
「のぼり旗」
「板橋」・「主郭周辺」・「木橋（木杭）」
「主郭周辺以外」

大堀切
を追記

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所



・ 40頁 第5章 整備基本計画 第3節 整備計画 2. 松根城跡地区 6～7行目を修正

（修正前）

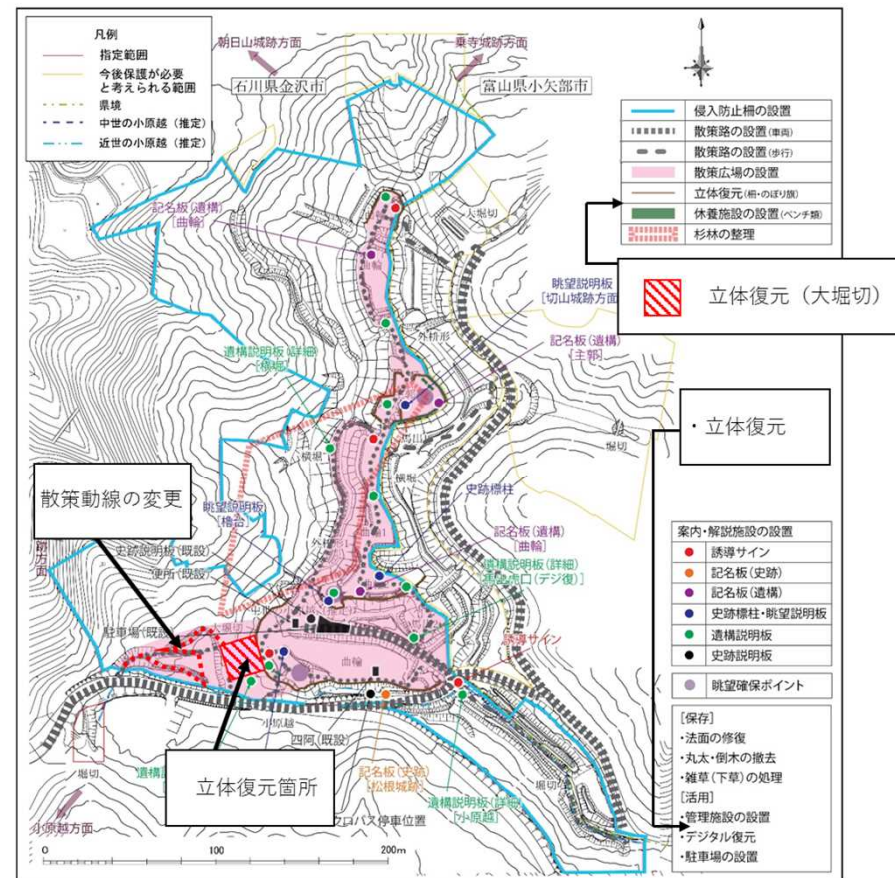
眺望点付近及び南側大堀切の城側には、のぼり旗を設置し、
景観演出を図る。

（修正後）

眺望点付近及び南側大堀切の城側には、のぼり旗を設置し、
景観演出を図る。**大堀切は遺構の保存を図りつつ史跡の特
徴的な遺構を視認できるよう、立体復元を行う。**

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・ 40頁 第5章 整備基本計画 第3節 整備計画 2. 松根城跡地区 第19図 松根城跡地区整備計画図を修正



第 19 図 松根城跡地区整備計画図

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・53頁 第5章 整備基本計画 第4節 整備項目 10. 立体復元 (3) のぼり旗の後ろに(4) 大堀切を追加
(追加)

(4) 大堀切

- ・広く大堀切を周知する手段として、大堀切や周辺の園路整備、サイン整備に加え、大堀切の立体復元を行い、遺構の保存を図りつつ視覚的に遺構の機能や特徴を表現する必要がある。

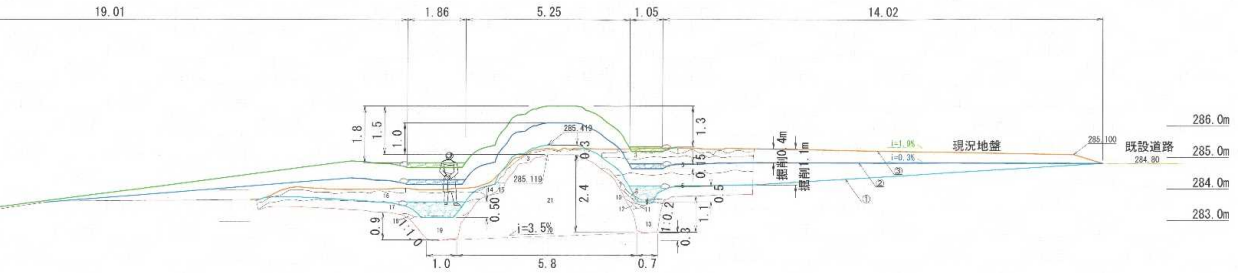
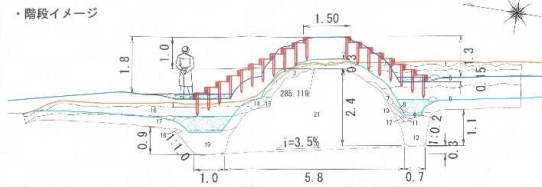
大堀切の特徴	<ul style="list-style-type: none">・加賀と越中を結ぶ小原越（街道）を遮断している。 ・大堀切内の移動を困難にするために、溝と土塁を堀切内に造成している。
復元方法	<ul style="list-style-type: none">・遺構を保護するため土塁の表面に盛土し、モルタル吹付を実施する。 ・大堀切の斜面には緑化シートを敷設し、在来種の植物を植える。

■大堀切の整備

(A3) S=1:100

- ①水色：覆土30cm案（現況から1.1mの掘削あり）
- ②青色：既設道路から排水勾配0.3%案（既設道路高さまで掘削H=0.4m）
- ③緑色：現況地盤高さに計画面を設定案（調査箇所以外の掘削なし）
- ④赤色：現地盤に土系舗装で土塁の位置を示す案

確認：溝の深さ、排水、舗装厚



『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所



・ 59頁 第5章 整備基本計画 第6節 事業実施計画 4行目を修正

(修正前)

そこで、整備項目を「第1期」と「第2期」の2段階に区分し、効率的に事業を推進する。

(修正後)

そこで、整備項目を「第1期」と「第2期」の2段階に区分し、効率的に事業を推進する。**また、第1期事業計画期間終了時に進捗と効果の検証を行い、第2期に反映させる等、中間見直しを行う。第2期事業についても2027年度を目途に検証を行う。**

『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・ 59頁 第5章 整備基本計画 第6節 事業実施計画 第5表 第1期事業実施スケジュール（案）を総括

地区	事業項目		整備期間（第1期）						
			(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
共通	保存活用計画								
	整備基本計画								
	測量・発掘調査								
	基本・実施設計								
	地元交渉								
	用地取得	松根城跡							
		切山城跡							
小原越									
松根城跡	02.法面の修復								
	03.丸太・倒木の撤去								
	04.雑草（下草）の処理								
	09.案内・解説施設の設置		史跡説明板	史跡標柱			史跡説明板		
	12.杉林の整理								
切山城跡	01.残土の撤去								
	02.法面の修復								
	03.丸太・倒木の撤去								
	04.雑草（下草）の処理								
	09.案内・解説施設の設置		史跡説明板	史跡標柱					
	12.杉林の整理								
小原越	02.法面の修復								
	03.丸太・倒木の撤去								
	04.雑草（下草）の処理								
	09.案内・解説施設の設置		史跡標柱						
	12.杉林の整理		史跡説明版						



『国指定史跡 加越国境城跡群及び道 整備基本計画書』修正箇所

・60頁 第5章 整備基本計画 第6節 事業実施計画 第6表 第2期事業実施スケジュール（案）を中間見直し

地区	事業項目		整備期間（第1期）					
			(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028以降)
共通	測量・発掘調査		——	——	——	——	——	——
	基本・実施設計		——	——	——	——	——	——
	地元交渉			——	——	——	——	——
	用地取得	松根城跡					——	——
		切山城跡					——	——
		小原越						——
松根城跡	05.侵入防止柵の設置							
	06.散策路の設置					——	——	——
	07.散策広場の設置					——	——	——
	08.管理・休養施設の設置							——
	09.案内・解説施設の設置				——	——	——	——
	10.立体復元			——	——	——	——	——
	11.デジタル復元							——
	12.杉林の整理			——	——	——	——	——
	13.駐車場の設置							——
	02.法面の修復			——	——	——	——	——
切山城跡	05.侵入防止柵の設置							——
	06.散策路の設置							——
	07.散策広場の設置							——
	08.管理・休養施設の設置							——
	10.立体復元							——
	11.デジタル復元							——
	12.杉林の整理			——	——	——	——	——
	13.駐車場の設置							——
	02.法面の修復			——	——	——	——	——
小原越	05.侵入防止柵の設置							——
	06.散策路の設置					——	——	——
	07.散策広場の設置					——	——	——
	08.管理・休養施設の設置							——
	11.デジタル復元							——
	12.杉林の整理			——	——	——	——	——
	13.駐車場の設置							——

